

勢原村大福寺字額

山口北七郎様



華多諸君會料室  
養集方以候  
故北有付一應  
少筆之恨議  
處以存之通  
出中商書之  
河之者耳言  
服之慶福之  
海學研究之

股之塵務より纏る水

諸事辨究の精暇トテミ

多し此も亦志より成る

之業務より奮擲の目

由臨急に馳駆河一

程に氣力もナク我々事々ハ

須臾の隙に在るも凡

潮の退き更なる事

子多軍の交育を法

考案するより其の

生命より難くあ

候事と云はれども

向ふは許さぬ事

希程なり

馬に才質

老景のうらみ  
を命に負難う  
候事といひ  
向ふは許さ  
希程なり  
馬も長  
と

一五四年八月

佐野仲次郎  
お

山口七郎

玉葉下

け

減  
うらみ  
佐野仲次郎